

医療制度改革の課題

～ 緊急時対応の強化に向けて ～

1

小林 慶一郎
慶應義塾大学

2

感染爆発に備えた緊急時対応

- ▶ 早期かつ強力な検査体制
 - ▶ 家庭における簡易キット（抗原定性検査）の無料配布
 - ▶ 地方移動時の空港・宿泊施設でのワクチン接種・検査陰性確認
 - ▶ 地方ターミナル駅での迅速検査の全国展開支援
- ▶ ワクチン接種の促進（ブースター接種）
 - ▶ 供給量の前倒し確保
 - ▶ 国民の努力義務であることの周知
 - ▶ 学校等での大規模接種の実施

医療提供体制の緊急時対応

3

■ 医療資源の有効活用

- 入院の必要性精査、入院先の仕分け（トリアージ）の徹底
- 臨時医療施設増設
- コロナ患者受入れ・患者往診の「見える化」（要請、勧告の強力実施）
- 補助金受給医療機関のコロナ患者受け入れの実態調査、悪質事例公表、会計検査の実施予告
- 報酬体系の適正化等による医療スタッフの確保
- G-MISの入力に診療報酬加点
- 患者データベースの行政・医療者間共有が個人情報保護法上、問題ないことを周知

■ 職場や家庭内の感染対策

- 簡易検査キットの職場での展開推進や家庭へのかかりつけ医を通じた無料配布
- COCOAの自動発番と普及の促進

4

法的な制度設計

■ 緊急時対応の法改正

- 公的医療機関には危機時の業務計画の作成義務化
- 患者受け入れ拒否が許容される「正当な理由」を限定列挙で絞り込み
- 都道府県間の医療の広域調整の仕組みを法定
- 保険医指定の条件として危機時の協力の義務化

■ デジタル化加速

- マイナンバーを軸に各種システムの一気通貫統合
- デジタル庁による一元的管理
- 個人情報保護やプライバシーと、デジタル化による利便性のトレードオフについて国民的合意が必要

プロフィール

小林 慶一郎（こばやし けいいちろう）
慶應義塾大学経済学部教授

【略歴】

1991年 東京大学大学院修了後、通商産業省（現経済産業省）入省
1998年 経済学 Ph. D. 取得（シカゴ大学）
2010年 一橋大学経済研究所教授
2013年 慶應義塾大学経済学部教授
2019年 東京財団政策研究所研究主幹（出向）
2021年 現職

専門はマクロ経済学、経済動学

【兼職】

キヤノングローバル戦略研究所研究主幹
独立行政法人経済産業研究所（RIETI）プログラムディレクター
東京財団政策研究所研究主幹（客員）
新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員
基本的対処方針等分科会構成員
財政制度等審議会臨時委員

【著作等】

- ・『日本経済の罨 ― なぜ日本は長期低迷を抜け出せないのか』（共著、2001年、日本経済新聞社、第44回日経・経済図書文化賞および第1回大佛次郎論壇賞奨励賞受賞）
- ・『財政と民主主義』（共編著、2017年、日本経済新聞出版社）
- ・『財政破綻後 ― 危機のシナリオ分析』（編著、2018年、日本経済新聞出版社）
- ・『時間の経済学』（2019年、ミネルヴァ書房）
- ・『相対化する知性』（共著、2020年、日本評論社）
- ・『コロナ危機の経済学』（共編著、2020年、日本経済新聞出版）
- ・『ポストコロナの政策構想』（共著、2021年、日本経済新聞出版）